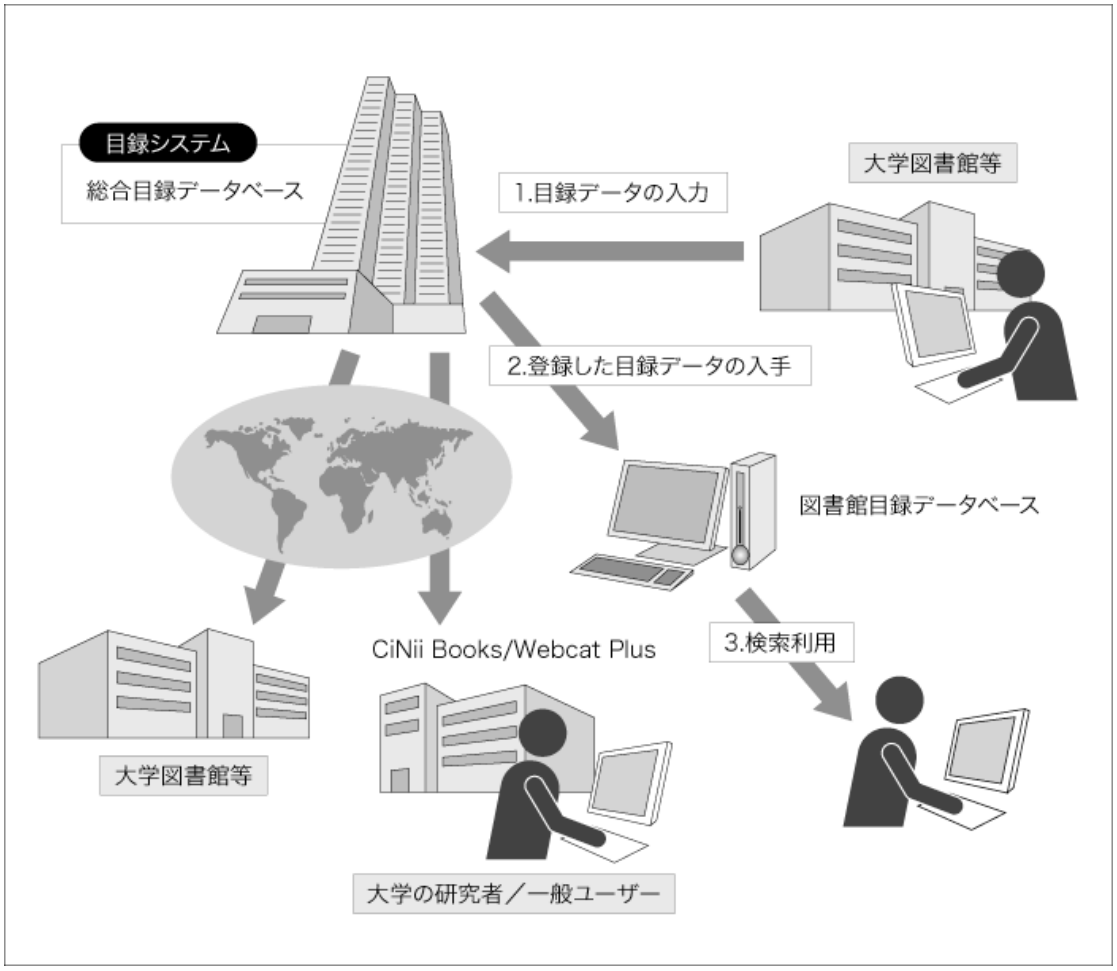
1. 目録システムと総合目録データベース

目録システムは，研究者の研究活動を支援するため，全国の大学図書館等にどのような学術文献（図書・雑誌）が所蔵されているかという目録所在情報が分かる総合目録データベースを構築するためのシステムである。

この目録システムでは，参加図書館によるオンライン共同分担入力方式をとることにより，従来のような各図書館での目録作成の重複を防ぎ，目録業務の負担を軽減している。また，データベースを効率的に形成するために，標準的な目録データである MARC（MAchine Readable Catalog / Cataloging）を参照ファイルとして利用することができる。

このオンラインシステムでの迅速なデータ登録により，最新の目録所在情報を提供することが可能となっている。



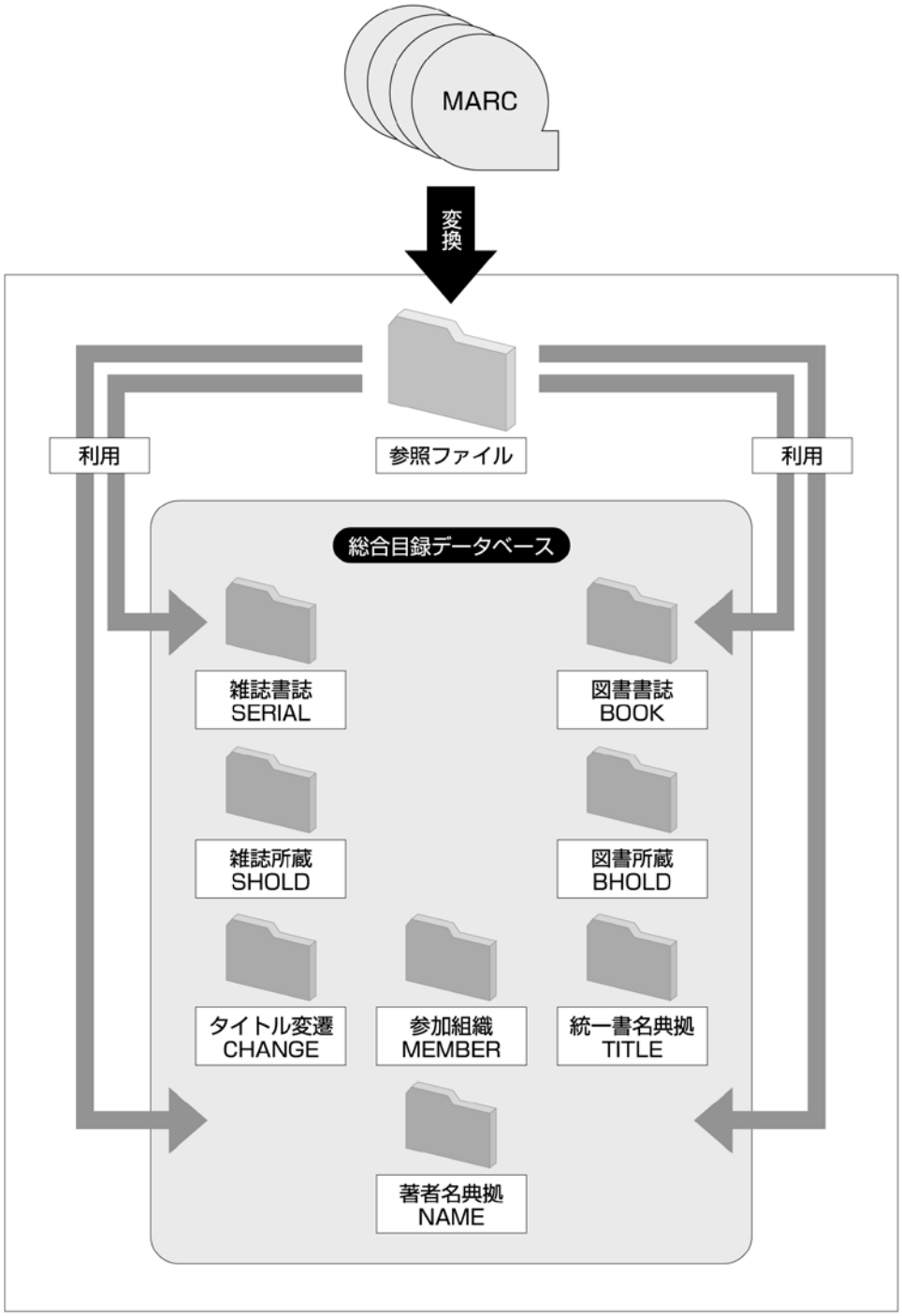
この総合目録データベースは，ILL システム（NACSIS-ILL：図書館間相互貸借システム）のほか，CiNii Books，Webcat Plus でも活用され，一般利用者への目録所在情報の提供にも大きな役割を果たしている。

さらに，参加図書館では，データをダウンロードすることで個々の図書館等の蔵書目録データベースを構築することができるので，OPAC（利用者用オンライン目録）をサービスすることも可能となる。また，選書や発注・受入業務，閲覧・貸出等の図書館の各種業務システムでも有効活用することができる。

2. ファイル構成

図の中心の総合目録データベースは，大きくは図書と雑誌に分かれ，それぞれ書誌ファイルと所蔵ファイルが中心となっている。さらに，典拠コントロールを行うための著者名典拠ファイル，統一書名典拠ファイルがあり，これら全体で総合目録データベースを形成している。

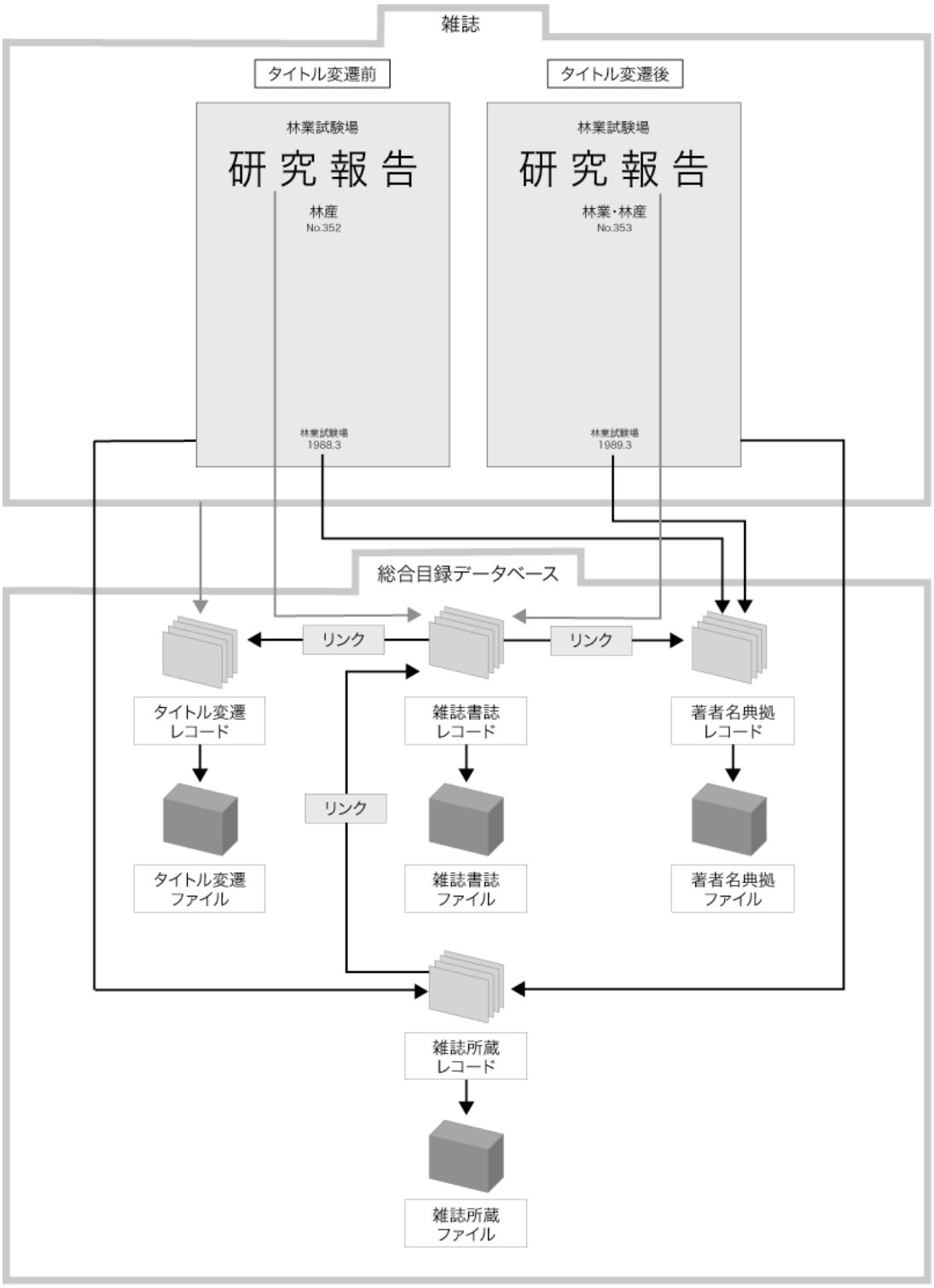
総合目録データベースの外周には参照ファイルがある。参照ファイルは，MARC を総合目録データベースのレコード形式に合わせて変換したものである。目録システムは，この参照ファイルを利用しつつ，中央部分の総合目録データベースの各ファイルに目録所在情報を蓄積していく仕組みになっている。



3. 総合目録データベースのレコード

目録に記載する情報は，総合目録データベースでは，次のように書誌の記述，標目，所在情報（分類や登録番号）の部分ごとに，別の「レコード」に分けて記録されている。各々のレコードは対応する「ファイル」に収録し，管理している。

さらに，関連するレコードを参照できるように，「リンク」によって相互に結び付けている。

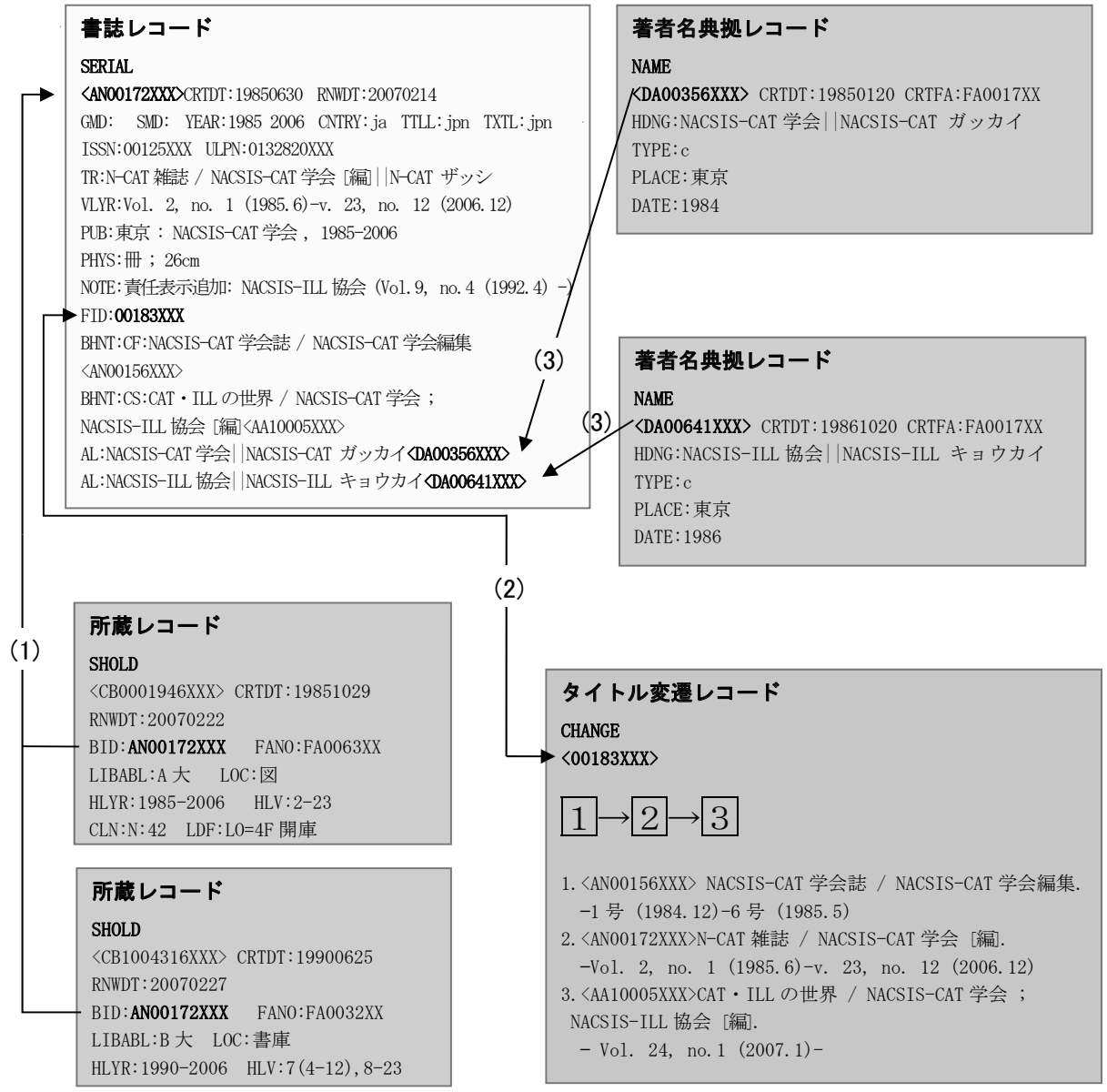


4. 総合目録データベースのレコード間の関係

各レコード間のリンク関係の具体例は下記のようになっている。

リンク先レコードの番号（ID）をレコード内に持つことで，リンクが形成されている。

総合目録データベースでは，ある雑誌に対応する 1 書誌レコードに対して，その雑誌を所蔵する複数図書館の所蔵レコードがリンクしている。また，それぞれの書誌レコードは，著者名典拠レコードやタイトル変遷レコードとリンクしている。



雑誌書誌レコードに関するリンクは次の 3 種類

(1) 書誌レコードと所蔵レコードの関係

書誌レコードの情報が，所蔵レコードの BID フィールドに記録される。所蔵レコードと書誌レコードは，書誌レコード ID によって，関連づけ（リンク）されている。

(2) 書誌レコードとタイトル変遷レコードの関係　→ 第 2 講 2.7

タイトル変遷の情報が，書誌レコードの BHNT フィールドに記録される。書誌レコードとタイトル変遷レコードは，タイトル変遷レコード ID によって，関連づけ（リンク）されている。

(3) 書誌レコードと著者名典拠レコードの関係

著者名典拠レコードの情報が，書誌レコードの AL フィールドに記録される。著者名典拠レコードと書誌レコードは，著者名典拠レコード ID によって，関連づけ（リンク）されている。

5. 参照ファイル

参照ファイルとは

・他の目録作成機関で作成した MARC を，総合目録データベースのレコード形式に合わせて変換したもの

・総合目録データベースに書誌レコードや典拠レコードを新たに作成する時に，流用（コピー）して，入力作業を軽減することができる

参照ファイルは，以下の点で総合目録データベースと異なる。

・レコード間のリンクは存在しない

・所蔵レコードがない

・参照ファイルのレコード自体を修正することはできない

総合目録データベースのファイルの種類により，以下の参照ファイルが利用できる。

＊…目録システム間リンク　→　第 2 講 2 参照

雑誌書誌

名称	MARC 名称	MARC 作成機関
JPMARCS	JAPAN/MARC（逐次刊行物）	国立国会図書館（NDL）
USMARCS	USMARC（serials）	米国議会図書館（LC）

図書書誌

JPMARC	JAPAN/MARC（図書）	国立国会図書館（NDL）
TRCMARC	TRC MARC	図書館流通センター（TRC）
CHMARC	China MARC	中国国家図書館
KORMARC	KORMARC	韓国国立中央図書館
USMARC	USMARC（books）	米国議会図書館（LC）
USMARCX	USMARC（maps, music, visual materials）	米国議会図書館（LC）
UKMARC	UK MARC	英国図書館（BL）
GPOMARC	GPO MARC	米国政府印刷局（GPO）
DNMARC	Deutsche Nationalbibliografie	ドイツ国立図書館
REMARC	USMARC（遡及的機械可読目録）	米国議会図書館（LC）
HBZ ＊	HBZ	ノルトライン-ヴェストファーレン州大学図書館センター

著者名典拠

JPMARCA	JAPAN/MARC（name authorities）	国立国会図書館（NDL）
USMARCA	USMARC（name authorities）	米国議会図書館（LC）

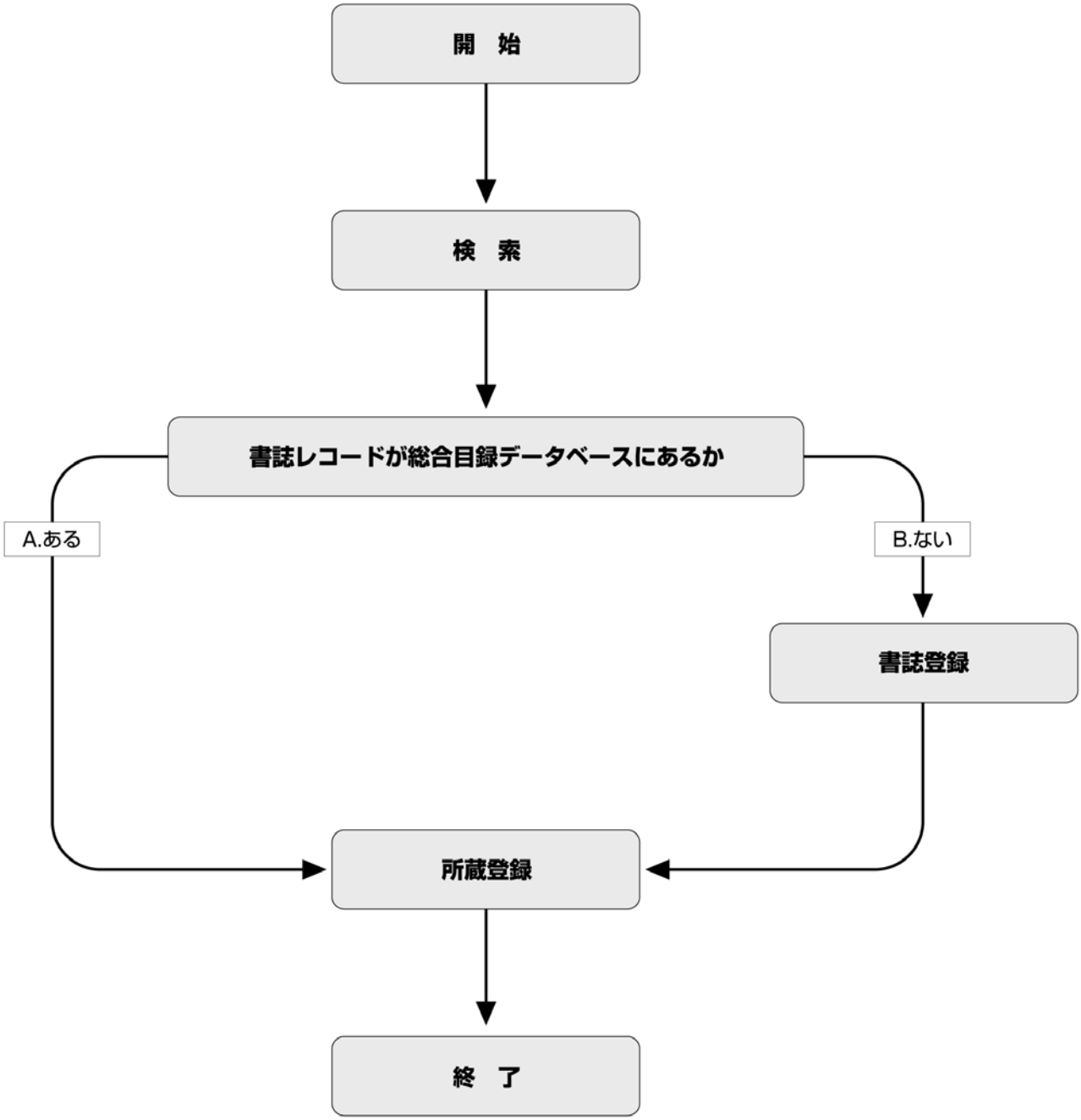
統一書名典拠

USMARCT	USMARC（name authorities）	米国議会図書館（LC）

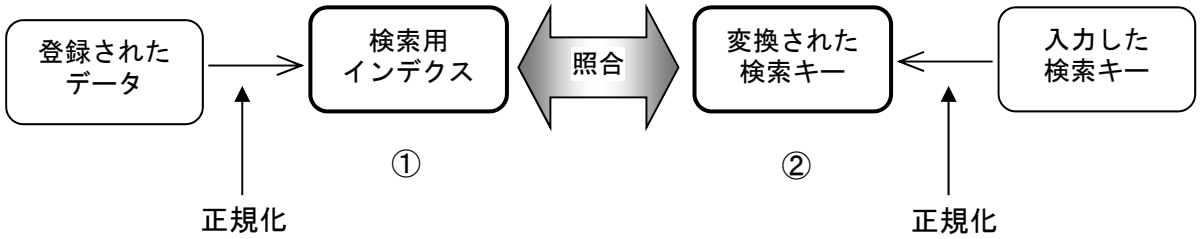
6. データ登録の基本的流れ

目録システムでは，まず総合目録データベースの検索を行ってから，データの登録を行う手順をとる。次のように，総合目録データベースの書誌レコードを検索した結果で，その後の手順が異なる。

A. 総合目録データベースに書誌レコードがあれば，所蔵登録を行う。
B. 総合目録データベースに書誌レコードがなければ，参照ファイル等を利用して書誌登録を行ってから，所蔵登録を行う。



7. 検索のしくみ



目録システムにおける検索は,

① 登録されたレコードのデータから作成された検索用インデクス

② 入力した検索キーから変換された検索キー

の照合という形で行われる。

→ 「目録システム利用マニュアル」第６版 2.7

7.1 正規化

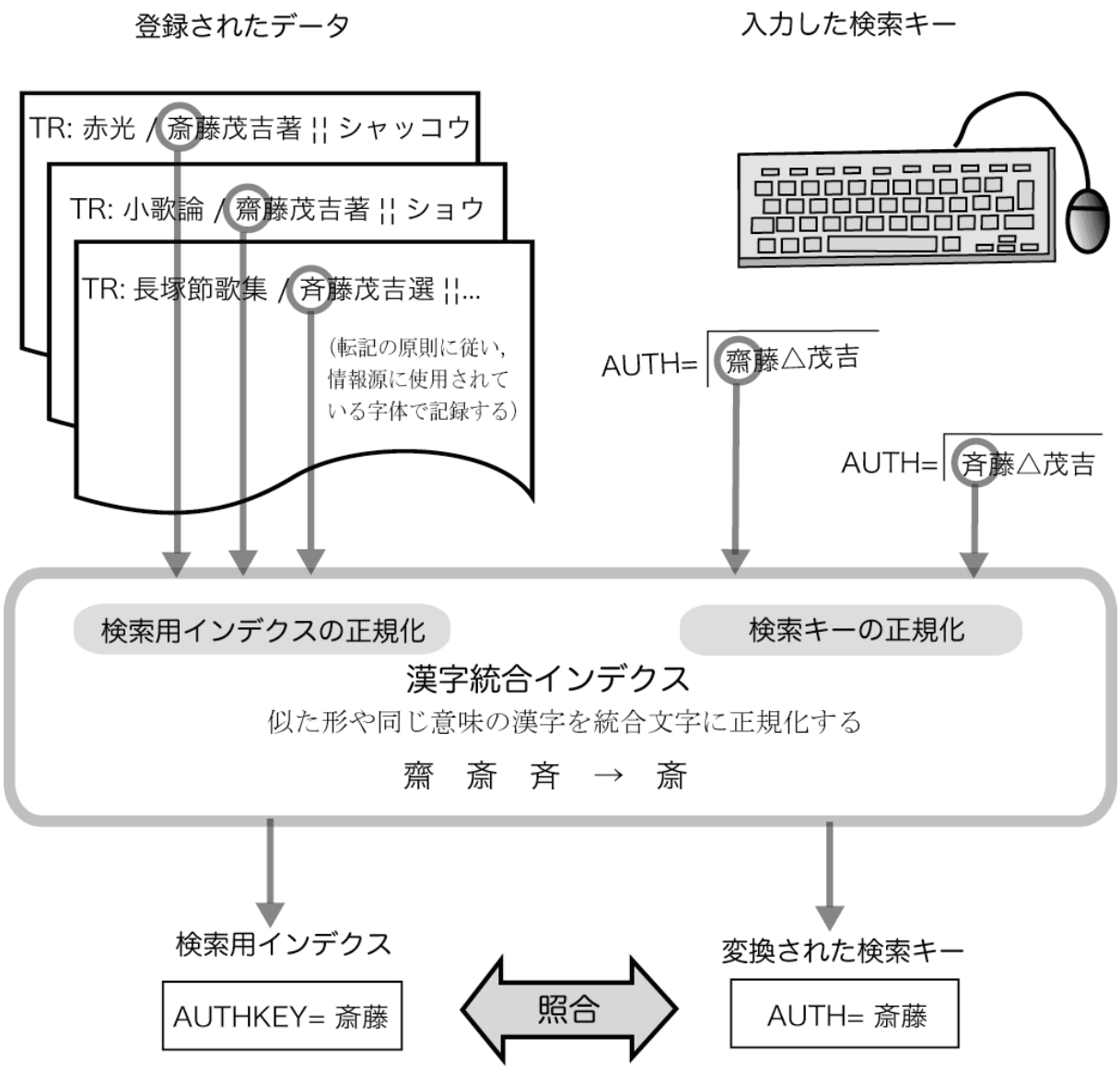
登録されたデータを検索用インデクスに変換する方法，及び，入力した検索キーを変換する方法には，一定の規則（正規化）がある。

正規化によって,

- **アルファベットについては，大文字，小文字，全角，半角の違いにかかわらず，漏れなく検索可能**
- **かなについては，ひらがな，カタカナ，促音，拗音などかな文字の大小の違いにかかわらず，漏れなく検索可能**
- **漢字については，新字体，旧字体などの違いにかかわらず，漏れなく検索可能**

7.2 漢字統合インデクス

UCS に含まれる CJK 統合漢字部分 には，似た形や同じ意味の漢字が数多くある。このことによる検索漏れを防ぐため，似た形や同じ意味の漢字を含めて統合検索を可能とするのが，漢字統合インデクスである。



7.3 検索用インデクス

検索用インデクスとは，レコードから一定の規則に従って作成される索引語のことである。総合目録データベースにデータを登録した時に，自動的に作成される。

総合目録データベースのレコード

★検索用インデクス名

→ **付録 3「検索用インデクス名」**

★漢字の表記形による単語単位の検索用インデクスは TR, VT 等の表記形とヨミを照らし合わせて，ヨミの分かちを参考にして作成される。

★FTITLEKEY は，本タイトル（責任表示，タイトル関連情報，並列タイトルを含まない）の先頭から終りまでを切り出している。ただし本タイトルが共通するタイトルと，「.△」で区切られた部編名または部編記号の従属タイトルからなる場合は，「.△」までの共通するタイトル部分のみを切り出す。

★AKEY は，TR のデータを一定の規則で短縮化したものである。

→ **「目録システム利用マニュアル」第 6 版 2.7.2**

①	ID = AN10099588	YEARKEY = 1988
	RNWDT = 19950512	CNTRY = ja
	ISSNKEY = 00824720	LANGKEY = jpn
	YEARKEY = 1984	
②	TITLEKEY = 林業試験場研究報告	TITLEKEY = 研究
	TITLEKEY = 林産	TITLEKEY = 報告
	TITLEKEY = リンギヨウ	AUTHKEY = 林業試験場
	TITLEKEY = シケンジヨウ	AUTHKEY = ㊟
	TITLEKEY = ケンキユウ	AKEY = 林試場
	TITLEKEY = ホウコク	AKEY = リンギシケホ
	TITLEKEY = リンサン	FTITLEKEY = 林業試験場研究報告
	TITLEKEY = 林業	FTITLEKEY = リンギヨウシケンジヨ
	TITLEKEY = 試験場	ウケンキユウホウコク
③	PUBPKEY = 茎崎町	PUBLKEY ＝ 林業試験場
	PUBPKEY = 茨城県	
④	TITLEKEY = BULLETIN	TITLEKEY = PRODUCTS
	TITLEKEY = FORESTRY	TITLEKEY = RESEARCH
	TITLEKEY = FOREST	TITLEKEY = INSTITUTE
⑤	FID = 10073500	
⑥	AUTHKEY = リンギヨウ	AUTHKEY = 林業
	AUTHKEY = シケンジヨウ	AUTHKEY = 試験場
	AUTHKEY = 林業試験場	AID = DA0383758X

※○印の漢字が，上段の画面例と異なっていることに関しては，漢字統合インデクス(第1講 7.2 参照)による。

8. マニュアル等

入力基準

①目録情報の基準第4版 http://catdoc.nii.ac.jp/MAN/KIJUN/kijun4.html	データベースの構造，レコード作成単位，文字入力の原則，分かち書き等
②目録システムコーディングマニュアル http://catdoc.nii.ac.jp/MAN2/CM/mokuji.html	データ記述方法に関する全般，項目一覧，データ記述文法等 ルーズリーフ形式で継続刊行中 （「NACSIS-CAT/ILL ニュースレター」の付録として配布）

操作マニュアル

③目録システム利用マニュアル．入門編 http://catdoc.nii.ac.jp/pdf/intro.pdf **④目録システム利用マニュアル．第6版** http://catdoc.nii.ac.jp/MAN/CAT6/mokuji.html	NACSIS-CAT の一般的な操作方法（検索･登録）

その他

⑤NACSIS-CAT/ILL ニュースレター **⑥オンライン・システム・ニュースレター**	システムの改善，基準の解説，検討・懸案事項等の決定報告等
⑦NACSIS-CAT/ILL Q&A DB（目録所在情報サービスに関する質問書/回答書データベース検索システム）	参加館からの質問とそれに対する回答
⑧日本目録規則 1987 年版改訂3版	和資料の記述について準拠する目録規則
⑨英米目録規則第2版	洋資料の記述について準拠する目録規則

目録所在情報サービスホームページ

http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/

マニュアル活用例＜困ったときの対処法＞

事例を実際のマニュアル類を使って調べてみましょう。

- 毎年刊行されるシリーズだけど，図書・雑誌どっちに登録すればいいの？

  総合目録データベースの基本的な考え方は『目録情報の基準』(①)に載っています。

  この例では，2.2.1　図書と逐次刊行物　の章を参照しましょう。「境界領域の資料については，双方のファイルに登録することが望ましい。」とあり，どちらか一方に登録する場合の考え方が示されています。

- 「大地震図譜」のヨミは，ダイ　ジシン　ズフ？　ダイジシン　ズフ？

  NACSIS-CAT でのヨミの表記や分かち書きの規則は，『目録情報の基準』(①)11.3 に載っています。この例はそこに掲載された例ですが，例にない場合もこの規則に合致するようにヨミや分かちを判断します。

- 出版地が複数表示されているけど，どれを記入すればいいの？

  『コーディングマニュアル』(②)に各ファイルのデータについて，フィールドごとのデータ要素の情報源や記述方法が書かれています。

  この例では，和図書なら 2 章，洋図書なら 3 章，和雑誌なら 6 章，洋雑誌なら 7 章の 2.記述ブロック PUB の項目を参照しましょう。

- 音楽 CD の書誌レコードって，どうやって記入すればいいの？

  NACSIS-CAT 関連マニュアルのサイトには，『コーディングマニュアル』(②)本体以外に，各種資料取扱いマニュアルが用意されています。多言語対応，各種資料（和漢古書，教科書，視聴覚資料など）のマニュアルを参照しましょう。

- 『脱・原発』は既存の書誌のはずなのに，「脱原発」でヒットしないのはなぜ？

  検索用インデクスがどのように作成されているかを知るには『目録システム利用マニュアル』(④)の付録.C を確認しましょう。デリミタ（第 3 講 5.検索キー参照）ごとにインデクスが分かれて作成されていることを理解すれば，どのような検索キーが有効か判断できます。

- マイクロフィルムの形態に関する事項はどう記入する？（和資料）

  コーディングマニュアルの 2.2.4 PHYS　F1 には，「各資料種別ごとに形態表示は異なる。目録規則の当該箇所を参照して記録する」と書かれています。『日本目録規則』(⑧)第 12 章マイクロ資料を参照しましょう。

- イタリア語の資料に「numero」と表示されている場合，そのまま転記？どう省略するの？

  洋資料では，決められた略語を使って記述することになっています。『英米目録規則』(⑨)の付録 B にその略語の一覧が掲載されています。また，付録 A には大文字使用法が載っています。

- どのマニュアルに書いてあるかわからない。

  NACSIS-CAT 関連マニュアルのサイトの冒頭に，「NACSIS-CAT マニュアル全文検索」があります。マニュアル類の他，ニュースレターで広報された内容も全文検索で調べる事ができます。

- マニュアル類をみても判断できない。

  NACSIS-CAT/ILL Q&A DB(⑦)で，これまでに参加館から寄せられた質問とその回答を調べると，過去に同じような疑問に対してどう回答されたかを調べる事ができます。キーワードでの検索や，フィールド等を条件にして検索する事ができます。また，該当する事例がない場合は，Q&A に質問を送ることもできます。